



駒岡小学校だより

6月号

楽しく高め合って

副校長 伊藤 みつみ

学校の木々の緑が濃くなりました。この季節、学校では、各学年で様々な栽培活動が始まります。田んぼや畑を準備するに当たっては、後援会の皆様に毎年ご助力をいただいております。5月15日（水）は、5年生が田んぼに苗を植える活動を行いました。毎朝、苗の様子を見ようと、5年生以外の子ども達も田んぼの周りに集まります。すくすくと育つ苗を見て喜ぶ姿はとても微笑ましいです。

日に日に暑さも増してきて、夏の到来を感じます。1年生はアサガオ、2年生は野菜、3年生はサツマイモ、4年生はツルレイシ（ゴーヤー）など学年毎に違いますが、育てる楽しさは同じです。地域の方にも教わりながら学びを深めてほしいです。



5月22日（水）には、全校なかよし遠足が行われました。去年は雨のため、お弁当を食べずに帰ってきましたが、今年は晴天に恵まれ、一日思う存分遊ぶことができました。私は花の広場にいましたが、子ども達が「はないちもんめ」や「だるまさんの一日」や「色おに」など、昔ながらの遊びに夢中になる姿を見て、子どもは昔も今も変わらないことを感じました。そして、花いちもんめの歌詞に興味を惹かれました。「勝ってうれしい花いちもんめ、負けて悔しい花いちもんめ.... 布団かぶってちょっと来ておくれ、お布団びりびり行かれない....」と子どもたちは歌っていましたが、私の育った東北地方の歌詞には、布団かぶってという部分はなかったのです。私の驚きをよそに、子ども達は、縦割りで昔遊びをする楽しさで、笑顔いっぱいでした。

高学年の子ども達は、とても優しく下級生に接していて、本来子どもの中にある年下の子への思いやりが、縦割り活動を通して自然に育っていることを感じました。6月22日（土）の土曜授業参観では、5時間目になかよし活動があります。異年齢で楽しく高めあう姿をご覧ください。嬉しそうです。

